



※ | 手ぬぐいPR作戦 | ※

活動通信

No.10

2026.8.21
発行

発行：公益財団法人 日本訪問看護財団 訪問看護普及強化プロジェクト

全国から届いた“訪問看護の風”をご紹介します活動通信も、いよいよNo.10を迎えました！

今回は、事業所のホームページでの発信、日々の訪問や入浴介助、多職種が集まる場での紹介など、身近な業務の中で取り組まれた活動をご紹介します。首に巻いたり、訪問バッグに結んだり、実際のケアに使ったり。特別な催しを行わなくても、手ぬぐいを日常の中で使うことが、訪問看護を知っていただく自然なきっかけになっています。全国各地の皆さまが、それぞれの方法で届けてくださった活動をご覧ください。

01 稲沢市民病院訪問看護ステーションあしたば 様（愛知県）

手ぬぐいとともに写真撮影。事業所のHPにアップ。訪問時手ぬぐいとしてスタッフ
が使用して利用者さんにお伝えしています。
スタッフが使用するだけでなく、お祭りの時に配布できるとよい。

手ぬぐいPR作戦始動！



02 株式会社 フィリア 様（兵庫県）



入浴介助などの時に首に巻いて活動した

お風呂介助頑張るぞ！

03 訪問看護ステーション ビーベル 様（京都府）



多職種連携会議・懇親会・就労B型作業所(山科テラス)・薬局(なでしこ)・サ高住(シニアライフ伏見)など。
訪問看護時にカバンや首に巻いてアピールと実際にスタッフさんに手拭いに触れてもらい再度アピールしました。
今回のPR大作戦は良かったと思いますが、PR用にお渡しできる何か有ればもっとよかったと思います。
ありがとうございました。

04 訪問看護ステーション彩 様（埼玉県）



訪問バッグ（リュック）に手拭いを巻いて訪問。

訪問看護広めるぞ！届けるぞ！

05 バンビ訪問看護ステーション大田区 様（東京都）



直射日光避けて出発。



日々の訪問時や訪問先でのストレッチ、自社インスタにアップする予定。

訪問看護の最中、ご利用者様との外歩きで突然のゲリラ豪雨にあい、手拭いを使用してご利用者様を拭いてあげました。その際、大変かわいい手拭いだね、とご利用者様から訪ねられ訪問看護財団のPRで配られてると話が盛り上がった一面がありました。

この手拭いを可愛いと褒めて下さるご利用者様が多く、お配り出来ないのが残念です。

日々の訪問やケアの中で手ぬぐいを使うことで、思いがけない場面で役立ち、そこから利用者さんとの会話が生まれる。今回も、手ぬぐいが実用品であると同時に、訪問看護を身近に伝えるアイテムであることが分かるご報告が届きました。普段から持ち歩き、日常の中で使うからこそ、無理なく訪問看護を伝えられる。それも、この企画の大切な魅力です。また、「地域の方にも届けたい」という声が複数寄せられたことから、手ぬぐいが人に伝えたいPRアイテムになったことがうかがえます。

活動通信をNo.10まで重ねることができたのは、全国の皆さまが活動の様子や率直なご感想を届けてくださったおかげです。心より感謝するとともに、引き続き、皆さまからの活動報告を楽しみにお待ちしております！



活動報告フォームは
こちら

URL <https://forms.gle/FoE8qR744dkLV1Jd6>

ご報告いただきたい内容

- ☒ 活動の内容（300字以内）
- ☒ 活動のお写真
- ☒ お写真のタイトル
- ☒ その他、ご感想など

